

【棚田地域振興活動加算に関する目標設定】(取組期間は令和6年度まで)							資料 5		
・・・要領の運用第8の2により懇談会による確認・意見聴取を行うものとされている。									
市町村名	集落協定名	加算面積(㎡)	田面積(㎡)	畑面積(㎡)	加算金額(円)	ア 棚田等の保全に関する目標	イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	ウ 棚田を核とした棚田地域の振興	達成状況
上田市	岩清水	101,850	101,850		1,018,500	侵入防止柵を毎年200m程度設置し、獣害による被害面積をR1年度の96aから5割削減する。	棚田の保全活動に取り組む人数を、現状の20人から30人に増加させる。	棚田のオーナーを、60組まで増加させる。	イ、ウ達成済み(ア:達成の見込みあり)
伊那市	横山	354,420	353,925	495	3,544,200	令和7年3月までに各棚田の保全に取り組む人数を減少させない。	令話7年3月までに各棚田および周辺に景観作物または希少生物の餌植物を一ヶ所以上作付けする。	令和7年3月までに棚田米等を原料とした加工品を1品以上特産品化し、商品構成を一つ以上追加し、販売を促進する。	全て達成の見込みあり
伊那市	山室	269,635	269,635		2,696,350	令和7年3月まで各棚田の保全に取り組む面積を現状維持する。	令和7年3月までに各棚田で環境保全型の農業(有機農業、カバークロップ、堆肥の施用等)を実施する。	令和7年3月までに地域運営組織(区、地区常会等)と連携した地域自治機能強化活動(高齢者の見回り、送迎、買物支援等)を開始する。	全て達成の見込みあり
伊那市	溝口	197,132	197,132		1,971,320	令和7年3月まで各棚田の保全に取り組む面積を現状維持する。	棚田米を安定生産し、1等米比率を維持する。	令和7年3月までに地域運営組織(区、地区常会等)と連携した地域自治機能強化活動(高齢者の見回り、送迎、買物支援等)を開始する。	全て達成の見込みあり
伊那市	中尾	61,760	61,760		617,600	令和7年3月までに各棚田の保全に取り組む人数を減少させない。	令話7年3月までに各棚田および周辺に景観作物を一ヶ所以上作付けする。	令和7年3月までに棚田米等を原料とした加工品を1品以上特産品化し、販売を促進する。	全て達成の見込みあり
辰野町	神戸	104,840	104,840		1,048,400	【集落機能強化】令和7年3月までに神戸棚田の保全に取り組む作業組人数を協定者以外から10名確保する。	【生産性向上】モチ米の作付け面積を令和7年3月までに15aを目指し、集落内外の希望者に安価で配布(販売)する。	【棚田の価値を活かした活動】神戸地域収穫祭を年2回開催し、観光客1,000人以上の確保を目指す。	全て達成の見込みあり
辰野町	沢底	88,687	88,687		886,870	【棚田の価値を活かした活動】水路の交換等を令和7年3月までに10か所実施する。これにより作業しやすい環境をつくり維持管理、荒廃農地の発生を防ぐ。	【生産性向上】ひまわりの作付けを行い、収穫した種を令和7年3月までに5kg販売する。	【集落機能強化】集客の向上を図るため看板の設置、作成を令和7年3月までに構成員以外から15人参加させる。	全て達成の見込みあり
辰野町	下村	25,786	25,786		257,860	【生産性向上】令和7年3月までに下村地区棚田(0.6ha)における遊休農地でそばを作付けし、販売量を0kgから2tに増加させる。	【集落機能強化】下村地区棚田に花桃を250本植え、その植樹作業に構成員外から令和7年3月までに合計15人増加させる。	【棚田の価値を活かした活動】棚田周辺に植えられた花桃を観光資源とし、地域振興として年間30人の集客を目指す。	全て達成の見込みあり
辰野町	山寺	26,405	26,405		264,050	【集落機能強化】令和7年3月までに山寺棚田での作業人数を15人増加させる。	【棚田の価値を活かした活動】令和7年3月までに山寺棚田でキク等景観作物を25株植える。	【生産性向上】山寺棚田で収穫された農産物を福寿草祭り等で令和7年までに合計25kg販売を目指す。	全て達成の見込みあり
麻績村	西之久保	68,112	68,112		681,120	【生産性向上】西之久保棚田でトラクター1台導入し、農作業の共同化面積を100aに増加させ管理・推進を図る。	【棚田の価値を活かした活動】西之久保棚田にコミュニティサロンを開設する。	【集落機能強化】農村交流体験イベント参加者数を延べ40人に増やし、移住者・移住検討者の増加を図る。	全て達成の見込みあり
麻績村	市野川	156,338	156,338		1,563,380	【生産性向上】市野川棚田で自動草刈り機を1台導入し、共同で行う草刈りの面積を100aに増加させ管理・推進を図る。	【棚田の価値を活かした活動】市野川棚田で自然ふれあいイベント(自然観察、里山ウォーキング等)を開催し、参加者数30人を確保することで豊かな自然環境を活用した関係人口の創出・拡大を図る。	【集落機能強化】農村交流体験イベント参加者数を延べ150人に増やし、移住者・移住検討者の増加を図る。	全て達成の見込みあり
白馬村	青鬼	46,214	46,214		462,140	【集落機能強化】令和7年3月までに棚田保全活動に係るボランティア活動に参加する人数を1名以上増加させる。	【生産性向上】村役場特産品部署及び各企業、スノーピークマルシェ等と連携しながら、令和7年3月までに棚田米を原料とした加工品・農産物等の販売拡大として、取扱い店を1箇所以上増加させる。	【棚田の価値を生かした活動】観光・文化財部署等と連携しながら、案内看板や冊子作製等の整備を進め、観光客の誘致を目標とし、観光客数を10名以上増加させる。人数把握はガイド等の持ち帰り数による延べ人数とする。	全て達成の見込みあり

【棚田地域振興活動加算に関する目標設定】(取組期間は令和6年度まで)							資料 5		
・・・要領の運用第8の2により懇談会による確認・意見聴取を行うものとされている。									
市町村名	集落協定名	加算面積(㎡)	田面積(㎡)	畑面積(㎡)	加算金額(円)	ア 棚田等の保全に関する目標	イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	ウ 棚田を核とした棚田地域の振興	達成状況
白馬村	立の間	39,658	39,658		396,580	【集落機能強化】令和7年3月までに棚田の保全活動に参加する人数を1名増加させる。 【生産性向上】上記に関連し、保全活動等の充実を図るため、共同使用する器具・機械について、令和7年3月までに1台以上導入・更新する。	【集落機能強化】鳥獣被害防止のための藪草刈作業等の参加者を1名以上増加させる。	【棚田の価値を生かした活動】令和7年3月まで棚田を核とした新規イベント(ライトアップ、農業体験等)を開催し、観光客・関係人口の創出を目標とする。	全て達成の見込みあり
白馬村	野平	19,722	19,722		197,220	【生産性向上】令和7年3月までにスマート農業の導入を検討し、遠隔による取水等調整型若しくは水位監視型の水位計、ドローン機器、自動草刈り機等の導入の検討をする。 共同で使用する機器を1台以上導入し、棚田保全活動の促進及び省力化を図る。	【集落機能強化】白馬村全域の棚田について、鳥獣被害防止のための藪草刈作業や電気柵作業を年間2回以上開催し、参加者のを1名以上増加させる。	【棚田の価値を生かした活動】農業体験イベント(野平酒米関連イベント)を開催し、年間10名以上の参加者を目標とし、関係人口の創出・観光振興を図る。	全て達成の見込みあり
白馬村	内山	18,122	18,122		181,220	【生産性向上】スマート農業(遠隔による取水等調整型若しくは水位監視型の水位計等を1台以上)を検討する。共同で利用できる農業機器を1台以上購入する。 【集落機能強化】保全活動の強化を図り、保全活動に参加する人数を1名以上増加させる。	【集落機能強化】鳥獣被害防止のための藪草刈作業を実施し、参加者1名以上の増加を目標とする。	【棚田の価値を生かした活動】既存のイベント(内山地区ホタル観覧会)を開催し、観光客数を5%増加させる。	全て達成の見込みあり
白馬村	堀之内・飯田	75,176	75,176		751,760	【集落機能強化】保全活動に取り組む人数を2名増加させる。	【生産性向上】堀之内・飯田棚田地域が属する行政区にある「農かふえ」と連携しながら加工品等の販売量を2%増加させる。	【棚田の価値を生かした活動】堀之内・飯田棚田地域が属する行政区に存在する「農かふえ」と連携しながら観光客数を5%増加させ、関係人口の創出と観光振興を目標とする。	全て達成の見込みあり
小谷村	峯	38,140	38,140		381,400	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から8名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	蕨平	78,356	78,356		783,560	農地集積率を農地中間管理機構を活用して0%から10%増加する	景観作物の植栽を0.1haから0.3haまで増加させる	農業体験利用者を0名から10名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	土倉	155,530	155,530		1,555,300	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.3ha増加させる	収穫祭(仮称)を年1回開催して、棚田地域における参加者を15人確保する	全て達成の見込みあり
小谷村	坪山	59,070	59,070		590,700	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2h植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を5名から9名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	虫尾	92,070	92,070		920,700	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	農業体験利用者を0名から5名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	曾田	93,210	93,210		932,100	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭(仮称)を年1回開催して、参加者を15人確保する	全て達成の見込みあり
小谷村	深原	57,910	57,910		579,100	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を4名から8名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	堂の入	49,780	49,780		497,800	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から9名まで増加させる。	全て達成の見込みあり
小谷村	家の下	34,690	34,690		346,900	担い手の参加を0名から1名増加する	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から8名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	越戸外	62,760	62,760		627,600	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から7名まで増加させる	全て達成の見込みあり

【棚田地域振興活動加算に関する目標設定】(取組期間は令和6年度まで)							資料 5		
・・・要領の運用第8の2により懇談会による確認・意見聴取を行うものとされている。									
市町村名	集落協定名	加算面積(㎡)	田面積(㎡)	畑面積(㎡)	加算金額(円)	ア 棚田等の保全に関する目標	イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	ウ 棚田を核とした棚田地域の振興	達成状況
小谷村	立屋千国	271,778	271,778		2,717,780	農地集積率を農地中間管理機構を活用して0%から10%増加させる	景観作物を0.2haから1haまで植栽を増加させる	農業体験利用者を50名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	元廻	44,420	44,420		444,200	農地集積率を農地中間管理事業を活用して0%から10%増加させる	景観作物を0.2haから1haまで植栽を増加させる	農業体験利用者を50名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	土谷	62,900	62,900		629,000	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を0名から5名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	黒川	52,740	52,740		527,400	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から8名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	池原	81,200	81,200		812,000	担い手の参加を0名から1名参加する	地域における保全活動を行う人数を8名から2名増加させる	棚田オーナーを村と連携して2組増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	狐塚	16,110	16,110		161,100	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭(仮称)を年1回開催して、参加者を5人増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	伊折	28,660	28,660		286,600	荒廃農地の復旧を0.2ha行う	棚田保全活動する人数を4名増加させる	農業体験利用者を10名増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	下里瀬	23,980	23,980		239,800	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.0haから0.2ha植栽する	収穫祭を年1回開催して、参加者を5名から9名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	沓掛	33,590	33,590		335,900	担い手の参加を0名から1名増加させる	景観作物を0.5ha植栽を増加させる	収穫祭を年1回開催して、参加者を3名から6名まで増加させる	全て達成の見込みあり
小谷村	中谷	88,000	86,940	1,060	880,000	担い手の参加を0名から1名増加させる	保全活動する人数を5名増加させる	棚田オーナーを村と連携して3組増加させる	全て達成の見込みあり
飯山市	福島	187,166	187,166		1,871,660	草刈り等の福島棚田の保全活動に係る人を、区内の非農家及び区外から5名以上募り、協力者名簿として整理する。	令和6年度までに、福島棚田米として販売する米(主食用及びその他)の販売額を60万円から80万円以上とする。	令和6年度までに、田植え、稲刈り等協議会が開催する交流の場に、区外、市外から、年間延べ100人の参加者を確保する。	全て達成の見込みあり